別紙

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	医学系研究科	学科・専攻・課程	修士課程看護学専攻

最終更新日	2021 年 12 月 16 日

ディプロマ・ポリシー	
1	看護実践・看護管理・看護教育の分野において自主的に研究課題を立て，その課題の探究に必要な基礎的研究能力を形成することができる。
2	専門領域の理論と実践に関する豊富な知識と高度な技術を習得し，幅広い視野からの柔軟な問題対応に必要な態度を身につけることができる。
3	保健・医療・福祉の専門職との連携において，看護専門職として主体的行動ができ，　コーディネーターとして問題解決の調整に優れた能力を発揮することができる。
4	地域社会の健康問題の解決に看護職として率先して取り組み，多様化・国際化した看護活動の必要性をふまえ，看護支援方法の研究・開発を展開し，学術的な成果として社会に還元することができる。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP				評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3	4				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	成績判定資料	年間学年別単位取得報告	3 月	毎年	全院生	各年度で開講した科目の単位取得状況	●	●	●		・看護学専攻教員	・指導教員 ・学務課大学院係	院生の成績評価を一覧にまとめ、個別指導の情報とする。	●	●	●	●	●	●		●
2	実施中	修士論文評価資料	修士論文冊子	3 月	毎年	修了予定者	修士論文	●			●	・看護学専攻教員	・指導教員	院生が修士論文として認められた論文冊子を審査委員会委員や指導教員等に配布し、院生の研究能力の修得状況をとらえる。	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	修士論文評価資料	学位論文審査結果等報告書	2 月	毎年	学位論文審査対象者	学位論文審査結果の要旨、最終試験の要旨	●			●	・審査委員会委員	・審査委員会委員 ・修士課程小委員会 ・研究科委員会	学位論文審査委員会が、修士論文に値する内容であるかを判定した報告書であり、院生の研究能力の修得状況とらえる。	●	●	●	●	●	●	●	●
4	実施中	修士論文評価資料	修士論文審査の評価表	2 月	毎年	学位論文審査対象者	修士論文の倫理的配慮、研究過程、論文の独創性・限界と将来展望・論文体裁に関する総合評価	●			●	・審査委員会委員	・審査委員会委員 ・修士課程小委員会 ・研究科委員会	学位論文審査委員会が、修士論文の研究過程と成果について、評価を行い、院生の研究能力の修得状況をとらえる。評点は、学生表彰者や学位記伝達式総代の選考に利用する。	●	●	●	●	●	●	●	●
5	実施中	質問紙	院生による教育評価調査	2 月～3 月	毎年	全院生	学修目標の達成度、授業科目の学修評価、特別研究科目の学修評価、大学院教育の全体評価	●	●	●	●	・全院生	・看護専攻部会教育担当	調査結果を報告書としてまとめ、4 月専攻部会で報告する。その後、院生にもフィードバックする。本報告書は、次項に記す「大学院看護学専攻教育評価」に組み込み、学内限定で公開する。	●	●	●	●	●			●
6	実施中	教育評価報告	教員による授業評価	2 月～4 月	毎年	看護学専攻教員	授業のねらい、実施状況、評価	●	●	●	●	・看護学専攻教員（科目責任者）	・看護学専攻部会教育担当	毎年度、「大学院看護学専攻教育評価」としてまとめ、看護学科/看護学専攻ホームページ上で学内限定公開。冊子体は、看護学専攻教員、医学系研究科長、修士課程小委員会委員長に配布し、教員間で情報共有するとともに、カリキュラム全体の教育について学内外に説明する資料として活用する。	●	●	●	●	●	●	●	●
7	実施中	修士論文研究計画資料	修士論文研究計画検討会	年２回（10 月、2 月）	毎年	全院生	修士論文研究計画	●			●	・看護学専攻教員	・看護学専攻部会教育担当	院生の研究能力育成の一環で、年２回、カリキュラム外で、修士論文の研究計画について発表と意見交換を行う。研究計画検討をオープンにすることで、院生の研究過程を共有し、指導に活かす。	●	●	●	●				
8	実施中	テスト	臨床研究倫理セミナー小テスト	年１回	毎年	全院生	研究倫理に関するテスト	●			●	・医学部附属病院総合臨床研究センター	・医学部附属病院総合臨床研究センター	医学部倫理委員会において研究計画の審査を申請するには、本セミナーの受講が必須である。院生も受講し、テストを受けることで研究倫理に関する理解度を自己評価する機会となる。	●	●	●					
9	実施中	研究倫理審査	医学部倫理委員会	毎月	毎年	全院生	修士論文研究計画書の倫理審査	●			●	・医学部倫理委員会	・医学部倫理委員会	院生が取り組む研究は、医学部倫理委員会の審査・承認を得て実施される。倫理審査の判定結果は、院生が取り組もうとする研究の倫理的配慮や科学的合理性についての評価でもあり、研究指導に活用する。	●	●	●		●			

別紙

大分大学　アセスメント・チェックリスト

学部・研究科	医学系研究科	学科・専攻・課程	博士課程医学専攻

最終更新日	2021 年 12 月 16 日

ディプロマ・ポリシー	
1	基礎・臨床医学，及び生命科学における深い学識と高度な情報収集能力・分析能力および研究技術を備えている。
2	自らの研究歴あるいは臨床経験に基づいて，その学識・能力・技術を基盤に，自ら課題を見出し，それを解決・展開できる。
3	自らの研究成果を客観的に分析し，目的と背景・研究方法・結果・考察，さらに今後の発展の可能性について発表し討議することができると共に，その成果を欧文論文として発表する総合的な情報発信能力を有する。
4	科学的基盤に基づいて先端医療を理解又は実践することができる。
5	実験室や調査フィールドあるいは臨床の場における実践的な経験に基づいた，医学者としての研究者倫理を有している。
6	医学研究を通して人類の繁栄と福祉に貢献することができる。

教育課程と学習成果に関する基準	
1	学位授与方針が具体的かつ明確であること
2	教育課程方針が，学位授与方針と整合的であること
3	教育課程の編成及び授業科目の内容が，学位授与方針及び教育課程方針に則して，体系的であり相応しい水準であること
4	学位授与方針及び教育課程方針に則して，適切な授業形態，学習指導法が採用されていること
5	学位授与方針に則して，適切な履修指導，支援が行われていること
6	教育課程方針に則して，公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること
7	大学等の目的及び学位授与方針に則して，公正な卒業（修了）判定が実施されていること
8	大学等の目的及び学位授与方針に則して，適切な学習成果が得られていること

番号	実施状況	手法	名　称	実施時期	実施頻度	対　象	チェック内容・項目	対応 DP						評価者	実施責任者	結果の活用方法	教育課程と学習成果に関する基準							
								1	2	3	4	5	6				1	2	3	4	5	6	7	8
1	実施中	報告会	中間発表会	９月	毎年	３年生	研究成果の進捗度	●	●	●	●	●	●	研究指導教員	研究指導教員	以後の学習・研究成果と課題を検討することに活用する	●	●	●	●	●	●	●	●
2	実施中	論文	論文審査会	7～８月	毎年	４年生	学習・研究成果の検証	●	●	●	●	●	●	主査・副査		研究指導を経て，自立して研究し得る能力を備えていると認められるか，明らかにする	●	●	●	●	●	●	●	●
3	実施中	質問紙	大学院研究倫理教育セミナー	12 月	毎年	１年生	研究倫理に関するアンケート					●		博士課程小委員会委員長	研究科長	博士課程医学専攻生が学位論文を提出する際に、学位論文関連書類で本セミナーの受講証の提出は必須条件となっている	●	●	●	●	●	●	●	●